

【学校へのBLS教育導入検討委員会】

報告日：令和4年5月25日

【委員長】 立川 法正

【担当理事】 田中 秀治 (小委員会・WGは除く)

【活動内容】 (令和3年4月1日～令和4年3月31日迄)

1. 委員会開催日および議事内容

(開催日) (議事内容)

※新型コロナウイルス感染症の影響もあり開催なし

2. 報告内容

本委員会は「学校教育に実技実施を伴う救命教育を導入・普及する事」を目標に活動している。これは、院外心停止の救命率向上のために活動している国際的なネットワークであるGRA (Global Resuscitation Alliance)が提唱している10 stepsの1つ「学校とコミュニティにおけるCPR・AEDトレーニングを義務化」に当てはまり、世界の潮流に沿った活動となっている。

例年、日本AED財団School部会と連携し、本委員会は学術的な役割、School部会は実務的な役割と役割分担することで、より効果的に学校での救命教育導入の更なる促進を目指した活動を行っている。毎年、日本臨床救急医学会共催で開催している日本AED財団School部会フォーラムが、新型コロナウイルス感染症の影響で次年度に延期となる等、委員会活動を縮小せざるを得ない状況であった。

<令和3年度 主な取り組み>

1. 日本AED財団school部会との連携
 - ・ 委員会は学術的な役割、school部会はコンテンツやイベントなど実務的な役割
2. 全国学校安全教育研究会との連携継続
3. 学校教員のサポートとなるような精神的サポート・ケアに関わる取り組み
 - ・ バイスタンダーサポート特別委員会と共同で検討

【活動計画】 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

活動15年目を迎える令和3年度(2022年度)は、新型コロナウイルス感染症により活動縮小を余儀なくされた現状を立て直し、引き続き学習指導要領の改定を見据えた「学校での救命教育導入の更なる促進」を目標にする。そのために、

1. G2020に準拠した「心肺蘇生の指導方法、指導内容に関するコンセンサス」の改訂
2. 教員養成課程へのBLS教育の導入促進
3. 学校内でBLS教育を実施するための教員への支援
4. 学校安全・危機管理マニュアルへのBLS導入促進

を具体的目標として、日本AED財団school部会と緊密に連携しながら教育現場と医療側の連携方法や、教員養成課程や教員に対する授業方法の伝達を検討していく。